【様式８】

ＮＥＤＯ研究開発プロジェクトの実績調査票

*・研究機関ごとに本票を複製して記入してください。（再委託先、共同実施先を含む。）*

*・実施実績が多くある場合は、効果が大きい順に複数（最大５種）お書きください。*

*・企業以外の方につきましては、貴法人内で把握している範囲で記載をお願いします。*

|  |  |
| --- | --- |
| １．今回提案するプロジェクト | 未踏チャレンジ２０５０ |
| ２．研究機関名 | ○○株式会社 |
| ３．記載免除条件 | ＜下記に該当する場合チェックしてください。過去の実施実績欄の記載は不要です。＞  □ 過去１５年間、ＮＥＤＯプロジェクト実施実績なし  □ 同一年度に既に他の公募にて提出済  *（応募事業名：○○○技術開発　公募期間：平成○年○月○日～平成○年○月○日）* |
| ４．直近の報告 | □ 類似の調査にて報告済*（調査名：○○に関する調査）*  □ 同一年度に追跡調査にて報告済*（※プロジェクト終了後６年以内）*  *（該当プロジェクト名：P00000　　○○技術開発）*  □ 同一年度に企業化状況報告書（または実用化状況報告書）にて報告済  *（※助成事業\*1終了後６年以内、基盤技術研究促進事業終了後１１年以内または１６年以内）*  *（該当制度名：○○事業）* |
| ５．過去の  実施実績① | *※過去１５年以内に実施したＮＥＤＯプロジェクトの成果について記載してください。なお、「３．記載免除条件」に該当する場合は、本項目の記載は一切不要です。また、「４．直近の報告」に記載した事業ついては、記載不要です。ただし、上記のいずれかに該当する場合でも、報告内容に変更があった場合は、本項目を記載いただいてかまいません。（直接的なものに限らず、波及効果・派生技術・知財ライセンス・技術移転等も含む）*  ●プロジェクト番号・名称：*P00000 ○○技術開発*  ●実施期間：○○年度～○○年度  ●プロジェクトで生み出した技術的成果と実用化の状況：  *（例）・当該事業で開発した○○○技術を、△△△製品の×××として活用している。*  *・当該事業で開発した○○○技術を利用して△△△の製造をしている。*  *・当該事業で取得した○○に関する特許を他社にライセンス供与している。*  ●成果が活用されている製品名：  ●直近の売上額：  ●その他（社会的便益、CO2削減効果、雇用創出など）：  ●記入者連絡先  □　提案者と同じ  □　それ以外  所属・氏名：　　　　　　　　　　　　　住所：  電話：　　　　　　　　　　　　　　　e-Mail： |

（留意事項）

＊対象となる助成事業：

・福祉用具実用化開発推進事業　・産業技術実用化開発助成事業　・大学発事業創出実用化研究開発事業

・国民の健康寿命延伸に資する医療機器・生活支援機器等の実用化開発

・課題設定型産業技術開発費助成金交付規程を適用する事業（下記一覧）のうち助成を受けている方

<http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/hojo_josei_manual_manual.html>

御回答いただきました情報は、厳重な管理の下で取り扱うこととし、情報を外部に公表する場合には、統計処理するなど機関名等が特定されないよういたします。